

国際交流基金助成事業報告書

大阪薬科大学 薬学部 2年次生 関本小百合

1.はじめに

この度、国際交流基金の助成を受けて、平成27年3月1日から4月1日の1か月間カナダのバンクーバーを訪問しましたので報告します。滞在中はホームステイをしながら語学学校 **International Language Academy of CANADA (ILAC)** に通い英語力及びコミュニケーション能力の向上に取り組みました。

2.語学学校

ILACは、ダウンタウンの中心にあり交通の便もよく通学するのに最適な立地でした。ILACは大規模な語学学校でダウンタウン内に3つものキャンパスを持っています。クラスのレベルは14段階に分かれており、初日にクラス分けのテスト(スピーキング・ライティング・リーディング・リスニング)を受け、その成績でクラスが決まります。生徒は日本人・韓国人・ブラジル人・台湾人・ベルギー人・イタリア人・トルコ人・サウジアラビア人などたくさんの国の生徒がいました。理由は、この語学学校には国籍制限があるからです。年齢層は主に20歳前後の生徒が多かったですが意外にも社会人になって英語が必要だと思い仕事をいったんやめてきている人もたくさんいて驚きました。

次に、授業についてです。授業は **Main class** と **Elective Class** の2種類がありました。

Main class は月曜日から金曜日の朝からお昼、そして月・水・金の午後からありました。この授業では、教科書を使いリスニング・リーディング・スピーキングを中心に勉強しました。特に、スピーキングに力を入れている先生が多く、授業中に自分の意見を聞かれることが多かったです。**Elective class** は火曜日・木曜日の午後からあり、選択クラスなので自分のまなびたいことを学びました。私は、リスニングとスピーキングというクラスを取りました。このクラスは、色々な人とペアーを組み毎回違うお題でフリートークをしてスピーキング力の向上を図るというものでした。



授業自体は、14:00 まででしたがもっと英語力を上げたいと思ったので積極的にアクティビティに参加しました。この語学学校では毎日様々なアクティビティがあり当日でも参加可能なものもたくさんあったので、気軽に参加できました。私が参加したのはタレントショーという、生徒が自分の才能をステージで披露するというものでした。

そのほかには3月14日に日帰りでビクトリアにも行きました。ビクトリアは全体的にヨーロッパ調で、バンクーバーとはまた違った感じを味わうことができました。



3. ホームステイ

私のホームステイ先には、ホストマザーと私以外にもう二人の留学生がいました。一人はベルギー人で、もう一人はブラジル人でした。二人ともすごくフレンドリーで休日には三人で観光したり学校主催のクラブに行ったりとたくさんの時間を過ごしました。



4.感想

初めての海外ということですのでごく緊張していましたが、実際に行ってみると毎日が刺激的で考えさせられることがたくさんありました。自分にとっては当たり前のことも海外の人にとっては違ったり、そのことで相手の言いたいことがわからなかったり伝わらなかったりとたくさん苦勞もしました。日本語ではすごく簡単に伝えられるのにいざ英語でなんと説明するのかわからず、悔しい思いもしました。この経験を生かして日本で勉強していきたいです。このような経験を積むことができましたのも国際交流基金のおかげです。ありがとうございました。

